

西条市長職務執行者あいさつ



西条市長職務執行者 塩出皓治

平成16年11月1日、西条市、東予市、周桑郡丹原町および同郡小松町の2市2町が新設合併し、新「西条市」が誕生いたしました。

本市では、9月29日の台風21号により旧西条市・小松町に過去に例を見ないような甚大な被害を受けました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、災害復旧にご尽力いただいた皆様がたに心よりお礼を申し上げます。

さて、新「西条市」は、県下第3位となる約500平方キロメートルの面積と、約11万7千人という、県下第4位の人口、製造品出荷額5,846億円、経営耕地面積5,422ヘクタールと、共に県下第1位の規模を誇る一大都市であります。新市誕生に至る道のりを、改めて顧みますと、共通する風土を持ち、

かねてから緊密な関係にありました2市2町は、結束して「地域の自立的発展」をめざすという志において一致し、平成14年7月1日に、任意合併協議会を設立して以来、約2年半にわたり、精力的に協議を重ねて参りました。ここに、今日まで多なるご尽力とご指導を賜りました、愛媛県をはじめ、合併協議会委員並びに各市町議会議員や地域住民の皆様に、心から感謝を申し上げる次第でございます。

近年、地方自治体を取り巻く潮流は、大きなうねりを見せておりまして、この圏域におきましても、少子高齢社会への対応や地域経済の再生、



▶ 小松総合支所開庁式の様子



◀ 丹原総合支所開庁式の様子

さらには、大災害に備えた危機管理体制の構築など、取り組むべき課題が山積しております。

そのような現実を直視しますと、私たちの前途には、様々な試練が待ち受けていることと思いますが、西日本最高峰の石鎚山や恵まれた水資源などの豊かな自然環境、さらには、四国屈指の重厚な農工業基盤など、この圏域が誇る「総合力」をもってすれば、環瀬戸内圏にも十分な存在感を示す、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」が実現できるものと、強く確信しております。

さらにまた、新「西条市」の先達として、その礎を築いていくことになる私たちには、先人の努力に恥じ

ぬよう、このふるさとに力強い発展の明かりを灯し、それを次の世代に引き継ぐ責務があることを、改めて実感する次第であります。

結びに、これまで新「西条市」誕生のために、ご尽力を頂きました関係者の皆様に改めて深く感謝をいたしますとともに、温かいご理解・ご支援を賜りました住民の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

今後におきましても、新市発展のために、相変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶といたします。



▶ 東予総合支所開庁式の様子